

## 森林整備保全事業標準歩掛の制定について

平成11年4月1日付け11林野計第133号  
林野庁長官より各森林管理局（分局）長及び各都道府県知事あて  
〔最終改正〕令和5年3月24日付け4林整計第839号

このことについて、森林整備保全事業（治山関係事業及び林道関係事業をいう。）の標準歩掛及びその留意事項を別紙のとおり定めたので、平成11年4月1日以降の発注に係る設計積算の参考とされたい。

なお、「治山事業設計標準歩掛について」（昭和59年3月15日付け59林野治第527号林野庁長官通知）「民有林林道事業設計書作成要領について」（昭和43年5月20日付け43林野道第149号林野庁長官通知）は廃止する。

別紙

### 森林整備保全事業標準歩掛の留意事項

9 治山関係事業のうち工事等の実施箇所が次の(1)の各号のいずれかひとつに該当し、かつ、次の(2)の各号のいずれにも該当しない工事等は、山林砂防工を適用するものとする（以下、当該条件を「山林砂防工の適用条件」という。）。

このため、治山関係事業において「第1編 共通工」及び「第2編 治山」に定める「山林砂防工」の標記がある歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当しない工事等に適用する場合は、「山林砂防工」を「普通作業員」に替えて適用するものとする。

また、治山関係事業において「第3編 林道」に定める歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当する工事等に適用する場合は、標記している「普通作業員」を「山林砂防工」に替えて適用するものとする。

(1) 山林砂防工を適用する箇所

- ① 勾配がおおむね30%以上の箇所
- ② 運搬距離がおおむね100m以上のケーブルクレーンを架設する箇所
- ③ コンクリート現場練りの箇所
- ④ 山泊を要する箇所
- ⑤ ①～④に準ずる箇所

(2) 山林砂防工を適用しない工事等

- ① 林道工事と同種と見なされる工事
- ② 造林作業と同種と見なされる作業
- ③ ①及び②に準ずる工事等